

事業報告書

団体名	豊かな斎川地区を創る会
代表者役職・氏名	会長 保科 惣一郎
事業名	史跡活用環境整備事業
実施した事業の内容 ・活動内容 ・実施日時 ・場所 ・参加人数 等	団体の設立。空き家となっている検断屋敷の活用を目指し、ワークショップや資料収集、保存のための清掃活動や草刈り作業を実施。 ・設立総会 6月13日19時から 斎川公民館 参加人数：6名（予定人数6名） ・草刈り・清掃 6月26日8時30分から 検断屋敷 参加人数：6名（予定人数6名） ・役員会 8月20日19時から 斎川公民館 参加人数6名（予定人数6名） ・草刈り・清掃 8月26日15時から 検断屋敷 参加人数6名（予定人数6名） ・ワークショップ 8月27日9時から 斎川公民館 参加人数20名（予定人数20名） ・役員会 9月25日18時30分から 斎川公民館 参加人数6名（予定人数6名） ・視察研修 10月29日9時から ゆずの里・古民家園 参加人数10名（予定人数10名） ・草刈り・清掃 11月18日15時から 検断屋敷 参加人数6名（予定人数6名） ・お蔵お宝発見ツアー 11月19日10時から 検断屋敷 参加人数10名（予定人数20名） この事業にかかる地域住民の参加人数合計76人（予定人数86人）
事業の成果や効果	検断屋敷の活用は以前からなんらかの手立てが必要であると話題になっていたが、これまで具体的な動きがみられなかった。今回新たに団体を設立し、地域住民を巻き込み、実際に現地を見学し、草刈りや清掃などの作業に関わることで、より積極的に活用についての意見が上がるようになった。ワークショップでは、専門家からのアドバイスや、先進地での古民家の活用について全体で共有したのちに住民の意見を集約しましたが、特に若い世代から積極的に意見が出され、会員としてメンバー加

	入しともに活動をしていくことになったことは、これからの検断屋敷の継続した活用についてとても力強く、活動を進めていくための力となっています。
今後における事業展開	より楽しく、参加しやすい事業を目指し、地区民の意向を取り入れ、幅広い地域活動になるよう会員一同で力を合わせて進めていきたいと思ひます。検断屋敷の活用については引き続き、草刈り等の維持管理、場所を活用した住民参加型のイベントなどを企画し、地域が一丸となつてより明確なビジョンの作成を考えていきたいと思ひております。

【地域づくり団体等→まちづくり協議会等】

様式第V号④

収 支 決 算 書

団体名 豊な斎川地区を創る会

1 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
人と地域が輝く未来共創交付金	102,503	102,503	
会費	0	15,000	1,000×15名
視察研修参加料	0	36,000	3,000×12名
計	102,503	153,503	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	うち交付金対象額
研修費用	66,000	95,310	66,000
整備事業	19,000	19,000	19,000
消耗品費	8,227	8,667	8,667
印刷費	2,400	4,510	4,510
通信費	2,436	2,436	2,436
使用料	4,440	1,890	1,890
計	102,503	131,813	102,503

※支出を証する書類（領収書等）の写しを添付すること。